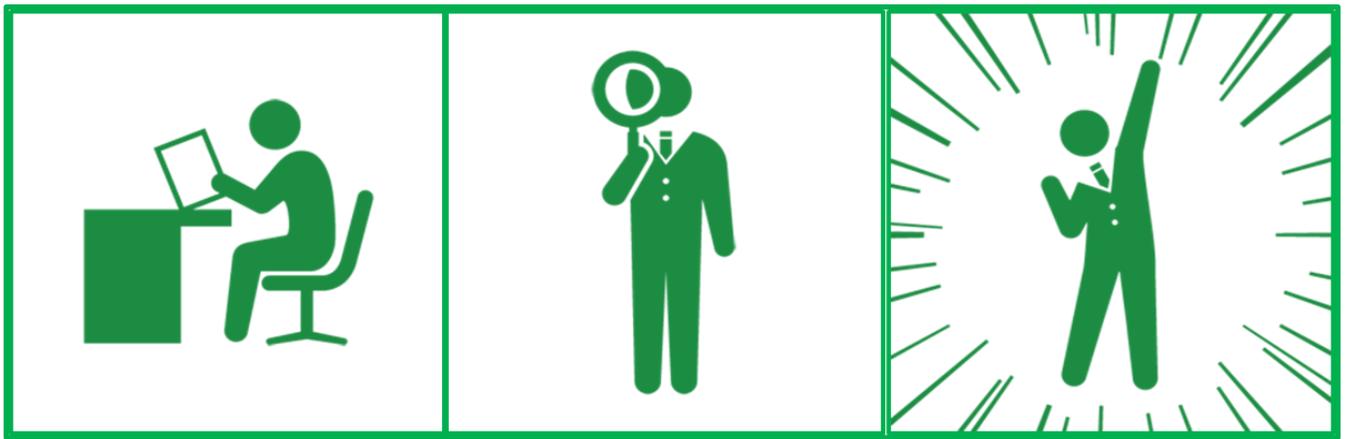


社協の出前講座 手引書

第2版

社協が先生方のお手伝いをさせていただきます！



地域との連携により育む

ともに生きる力

授業や課外活動の
プログラム
企画

地域の中での
体験の場

地域の
ゲスト
ティーチャー

社協は学校や地域とともに、子どもの学びや育ちを支える
「福祉教育」を推進しています！

社会福祉法人雫石町社会福祉協議会 ボランティア活動センター

社協の出前講座実施の流れ



『福祉教育出前講座を実施したい!』と考えたら…

学習内容の検討

・各学校で、どのような目的・内容で学習したいかを検討します。

*出前講座の相談・連絡は1ヶ月前までをお願いします。(ゲストティーチャー対応の講座は、連絡・日程調整のため2ヶ月前までをお願いします。)

*キャップハンディを学ぶプログラムについては、指導の都合上、原則30名までの対応となります。

社協へ相談

・各学校で検討した内容について町社協ボランティア活動センターへ相談してください。

*実施希望日は第3希望まで検討していただければ幸いです。内容がまとまりましたら、「福祉教育出前講座実施申請書(様式第1号)」に記入し、町社協ボランティア活動センターへ提出して下さい。(FAX・メール可)

事前打合せ

・プログラムの再確認、学習の流れ、必要物品の確認などを打ち合わせします。

*使用できる教室や必要物品の搬入・搬出などをあらかじめ検討してください。また、ゲストティーチャーの必要物品(パソコン・プロジェクター等)や資料印刷等について打ち合わせします。

福祉教育出前講座の実施・ふりかえり

*体験には必ず先生方の付き添いをお願いします。

*必要な場合、体験道具の運搬にご協力をお願いいたします。

***必ず実施後に「ふりかえり」(事後学習)を実施してください!!**

社協の出前講座メニュー

《ふくしを学ぶプログラム》

- ① ボランティアって何だろう？【講話】
- ② 知って得する！社協の福祉サービス【講話】
- ③ 支え合いカードゲーム【ゲーム・講話】
- ④ 募金活動について【講話】

《キャップハンディを学ぶプログラム》

- ⑤ 車いす体験
- ⑥ 白杖体験
- ⑦ シニア体験（高齢者疑似体験）
- ⑧ 手話体験

《災害について学ぶプログラム》

- ⑨ 災害ボランティアについて【DVD・講話】
- ⑩ 防災グッズあれこれ【グッズ製作・講話・クイズ】
- ⑪ 防災食を作ってみよう【調理・試食】
- ⑫ クロスロードゲーム【ゲーム・講話】
- ⑬ 避難所運営ゲーム【ゲーム・講話】

その他にも…

社協では、地域で活躍されている方や福祉施設の方のお話し・世代間交流など、学校ですすめられる福祉教育に対して、プログラムの企画段階からの相談、**地域の社会資源や人材をつなぐコーディネートを担っており、地域の様々な資源を駆使したプログラムを提案することができます。**是非、お気軽にご相談ください！

《ふくしを学ぶプログラム》

①ボランティアって何だろう？【講話】

講 師	町社会福祉協議会ボランティア活動センター職員 1～2名
内 容	町内のボランティア団体の活動紹介と『そもそもボランティアって何だろう？』という基本の部分や『自分たちもできるボランティア活動』について考えます。（KJ法を使っのワークショップも可）
対象人数	5～50名位（スタッフの協力人数によっては50名以上も可能）
目安時間	1～2時間程度（相談に応じます）
場 所	教室や体育館（対象人数により異なります）
依頼者準備	机・イス等
社協VC準備	PC・プロジェクター・スクリーン・ワークショップグッズ



講話：『ボランティアとは？』



ワークショップの様子

②知って得する！社協の福祉サービス【講話】

講 師	町社会福祉協議会ボランティア活動センター職員 1～2名
内 容	雫石町社会福祉協議会が取り組んでいる『福祉サービス』について紹介します。
対象人数	何名でも
目安時間	30分程度
場 所	教室や体育館（対象人数により異なります）
依頼者準備	机・イス等
社協VC準備	PC・プロジェクター・スクリーン

③支え合いカードゲーム【ゲーム・講話】

講師	町社会福祉協議会ボランティア活動センター職員 生活支援コーディネーター等（対象人数により異なります）
内容	カードを使い、それぞれが与えられた住民役を演じながら、自分が選んだ「助けてカード」の内容を解決できそうな相手を探して、交渉するゲームです。福祉・支え合いの気づきを促すことを目的としています。
対象人数	10名～30名程度
目安時間	1～2時間程度（相談に応じます）
場所	教室や体育館（対象人数により異なります）
依頼者準備	机・イス等
社協VC準備	支え合いカードゲームセット



支え合いカードゲーム



講話：募金活動について

④募金活動について【講話】

講師	雫石町共同募金委員会職員1～2名
内容	共同募金の仕組みや募金の種類、また集まった募金がどのように使われているのかを分かりやすく説明します。普段何気なくしている『募金』について考えるきっかけづくりにします。
対象人数	10名～30名程度
目安時間	45分～50分程度
場所	教室
依頼者準備	机・イス等
社協VC準備	—

《キャップハンディを学ぶプログラム》

❖ 『キャップハンディを学ぶプログラム』は組み合わせて実施することが可能です。ご相談ください。

⑤車いす体験

講 師	町社会福祉協議会ボランティア活動センター職員 ボランティアスタッフ（対象人数により異なります）
内 容	車いすの使用方法や介助方法、乗り心地を体験し、車いす利用者への関わり方を学びます。
対象人数	20名以内（10組）… 相談に応じます。
目安時間	45分～50分程度（オリエンテーション等含む）
場 所	屋外の敷地内（雨天時は校舎内）、段差やスロープの下見に伺うことがあります。
依頼者準備	2人1組のペアを決めておく （屋外の場合）雑巾 （屋内の場合）体操用マット、カラコン等の障害物
社協VC準備	車いす（*搬入出は学校で対応願います）



⑥白杖体験（アイマスク体験）

講 師	町社会福祉協議会ボランティア活動センター職員 ボランティアスタッフ（対象人数により異なります）
内 容	アイマスクを使用した誘導法体験や目を閉じたときの味覚の変化などを体験し、視覚障がい者への理解を深めます。
対象人数	20名以内（10組）… 相談に応じます。
目安時間	45分～50分程度（オリエンテーション等含む）
場 所	屋外の敷地内で実施します。雨天時は校舎内の廊下や階段を使用します。
依頼者準備	2人1組のペアを決めておく アレルギーの確認をしておく（飲料関係）
社協VC準備	アイマスク・白杖・ティッシュ・紙コップ・ドリンク



⑦シニア体験（高齢者疑似体験）

講師	町社会福祉協議会ボランティア活動センター職員 ボランティアスタッフ（対象人数により異なります）
内容	インスタントシニア器具を装着し、普段の暮らして行う動作（歩く・本を読む・買い物をする・お金を出す等）を体験します。
対象人数	20名以内（10組）… 相談に応じます。
目安時間	45分～50分程度（オリエンテーション等含む）
場所	教室・廊下や階段（相談に応じる）
依頼者準備	2人1組のペアを決めておく、机・いす
社協VC準備	疑似体験セット・ブルーシート



⑧手話体験

講師	雫石町ボランティア団体『手話サークル滴』 *1ヶ月以上前にご相談ください
内容	コミュニケーションツールとしての手話を通し、聴覚障がい者への理解を深める
対象人数	40名以内
目安時間	45分～50分程度（質疑応答含む）
場所	教室
依頼者準備	自分の名前を覚える際には、参加生徒の名簿（ふりがなつき）
社協VC準備	—



《災害について学ぶプログラム》

❖ 『災害について学ぶプログラム』は組み合わせて実施することが可能です。ご相談ください。

⑨災害ボランティアについて学ぶ【DVD・講話】

講 師	町社会福祉協議会ボランティア活動センター職員 1～2名
内 容	平成25年8月9日（金）に雫石町で発生した大雨洪水災害時の被害状況と全国各地から来たボランティアの様子をDVDで紹介。 災害が発生し自分や家族が被害に遭った時、どのような対応をすれば良いのかお話しさせていただきます。
対象人数	問わず
目安時間	45分～50分程度（質疑応答含む）
場 所	教室や体育館（対象人数により異なります）
依頼者準備	机・いす・マイクなど
社協VC準備	PC・プロジェクター・スクリーン



DVD・講話『災害ボランティアについて』

⑪防災食を作ってみよう【調理・試食】

講師	町社会福祉協議会ボランティア活動センター職員3～5名 雫石町日赤奉仕団（炊き出し訓練）
内容	災害時の食事という真っ先に「炊き出し」が思い浮かびますが、提供されたものを頂くだけではなく、自分たちでもできる『防災食』を実際に作ってみます。 また、いざという時に家庭にあると便利な食材などについてもお話しします。
対象人数	30人程度（要相談）
目安時間	45分～50分程度（質疑応答含む）
場所	教室や体育館（対象人数により異なります）
依頼者準備	机・いす・マイクなど
社協VC準備	防災食・ブルーシート等



⑪クロスロードゲーム【ゲーム・講話】

講 師	町社会福祉協議会ボランティア活動センター職員・ボランティア3～5名（対象人数により異なります）
内 容	災害は様々な種類（水害・竜巻・地震等）や時間帯・季節によって様々な対応を考えなくてはなりません。その時、自分がどのように行動したらいいのか考え、グループで話し合い災害時の対応について考えるゲームです。
対象人数	10人～50人程度
目安時間	60分～120分程度（質疑応答含む）
場 所	教室や体育館（対象人数により異なります）
依頼者準備	奇数人数になるようにグループ分け
社協VC準備	クロスロードゲームセット

⑫避難所運営ゲーム【ゲーム・講話】

講 師	町社会福祉協議会ボランティア活動センター職員・ボランティア3～5名（対象人数により異なります）
内 容	大規模災害が発生すると学校が指定避難所になります。次々と発生するアクシデントの対応について地域の一員として避難所運営をするとしたらどのように運営をするかをカードを使って参加者全員で考えます。
対象人数	5人～50人程度
目安時間	60分～120分程度（質疑応答含む）
場 所	教室や体育館（対象人数により異なります）
依頼者準備	奇数人数になるようグループ分け・机・イス
社協VC準備	HUG「避難所運営ゲーム」セット



クロスロードゲーム



避難所運営ゲーム

福祉教育出前講座 実施申請書

年 月 日

社会福祉法人雫石町社会福祉協議会
会長 目時 大堂 様

住 所

学 校 名

代表者名

印

下記のとおり福祉教育出前講座を依頼します

実 施 日 時	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分
実 施 場 所	
事 業 対 象 者	
人 数	
事業のテーマ・目的	
事 業 内 容	
事業担当者名 (連絡担当者名)	

地域の中で『ともに生きる力』を はぐくむ福祉教育

◇地域の中にある学びの場

福祉教育は、身の回りの人々や地域との関わりを通して、そこにどのような福祉課題があるかを学び、その課題を解決する方法を考え、解決のために行動する力を養うことを目的としています。

今の子どもたちは地域の大人とかかわる機会そのものが少なくなっています。身近な地域に暮らす、障がいのある人や高齢者を含めたさまざまな人々と関わり、学ぶことを通して、子どもたちは**コミュニケーションの力**を高め、多様な生き方にふれ、**命の大切さ**や**思いやりの心**、相手を理解しようとする豊かな心をしっかりと育みます。

◇福祉教育を通じてはぐくまれる力

出合いや関わりを通して、**自分と違う立場の人と認め合い**、**人の気持ちに共感できる力**や、**自分の考えを表現する力**、考えを共有し**実行につなげていく力**等の『**ともに生きる力**』をつけていきます。さらに子どもたちが地域の中で交流や活動をすることで地域の人から感謝されたり、大切に思われていることを実感でき、**自己肯定感**や**自己有用感**を積み重ねていくことができます。

◇子どもが変わる!大人が変わる!地域が変わる!

こうした「福祉教育」は子どもたち一人ひとりの「学び」や「育ち」につながるだけではなく、クラスや地域の中においても、お互いの違いを認め合い排除しない仲間づくりへとつながっていきます。

子どもたちが学びを通して変わることで、大人や地域もともに学び、変わることが出来ると考えています。

◇子どもたちの『学びたい、活動したい』という気持ち

学校の授業や行事の範囲内ではおさまらない、子どもたちの「もっと学びたい・活動したい」という気持ちを受け止める地域の受け皿を用意できるのは社協の強みです。社協には、そのような子どもたちの気持ちを具体的な活動につなげていく応援ができます。子どもたちの「ともに生きる力」をはぐくむためには、学校・家庭・地域が連携しつつ、地域全体で取り組むことが不可欠ですが、**社協は地域とのつなぎ役**を担うことができます。





社協の出前講座ご案内～ともに生きる力～

発行：社会福祉法人 雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター
〒020-0541 雫石町千刈田82-2
雫石町総合福祉センター内
電話：019-692-2230 FAX：019-691-1140
E-mail：shizukuishi-vc@shisha.or.jp
ホームページ： <http://www.shisha.or.jp/>

